

- ◆ 東海財務局における地域連携や地方創生支援では、これまで幹部職員や若手職員が中心となるなか、中堅職員自らが地域との交流を模索。
- ◆ そのなかで、愛知中小企業家同友会に対して意見交換会の開催を提案したところ、同世代同士の交流が若手経営者育成への一助になるとの理解が得られ、将来に向けた長い期間での連携を視野に、当局等中堅職員と若手経営者で意見交換会の開催に至ったもの。

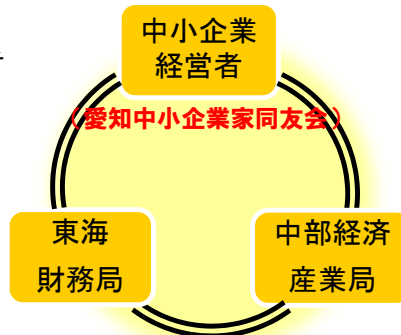
1. 成果事例の概要等

【東海財務局中堅職員と同世代の若手経営者及び中部経済産業局職員との意見交換会の開催】

- 当局の中堅職員は、これまで地域との交流機会が少ないこともあり、地域貢献や地方創生支援への取組が一部職員に留っていた。
- そこで、当局中堅職員が、まずは地域との関りを持ち、将来に向けた同世代同士のつながり構築も視野において交流ができないかと考え、愛知中小企業家同友会を訪問し、同友会に所属する同世代の若手経営者との意見交換ができないか提案。
- 同友会からは、「若手経営者の育成が課題となっており、これまでその手法について模索していたところで、業種や地区を超えた同世代との交流が、育成の一助となる」との認識が示された。

【不惑の会】

- 更に当局から交流の幅を広げるため、中部経済産業局にも声をかけ、同友会を含む3者で、まずは経営者が抱える課題やニーズを共有するための意見交換会を開催することで一致。
- 勉強会の参加者が、同世代の40歳前後であったことから、論語の「四十にして惑わず」にちなみ「不惑の会」と命名した。



2. これまでの取組の成果等

【「不惑の会」概要】

- 開催日：平成29年2月7日（火）
 - 参加者：当局、若手経営者、中部経済産業局から各5名の計15名
 - 第1部：講演（日間賀観光ホテル 中山社長）
中山社長からは、ホテル経営の立て直しのための苦労話や、観光協会にも働きかけて、日間賀島全体の観光活性化策につながる取組を行ったことなどについての紹介がなされた。
 - 第2部：第1部の講演を踏まえた意見交換会
講師に対しては、「日間賀観光ホテルが所在する日間賀島という離島に銀行融資を呼び込む秘訣は何か」といった質問がなされたり、「日間賀島と周辺の島との観光差別化はどうしたらよいか」という問題について、参加者全員で意見を出し合うなど、活発な意見交換が行われた。
- （参加者の声）
- ・同世代のため、率直な意見交換ができた。
 - ・経営上の課題だけでなく、地域の課題・ニーズも共有でき、有意義であった。
 - ・日頃聞けない中小企業支援策（国の補助金）の話が聞けたのは良かった。
 - ・課題等の共有だけでなく、今後は解決策や解決のためのヒントが得られる場となることを期待している。



3. 今後の課題と東海財務局の対応

- 活発な議論が行われるよう議題設定を工夫した上で、次回は平成29年5月開催予定。
- 当局参加者のメンバーを交代させることで、より多くの当局中堅職員の参加を促す。